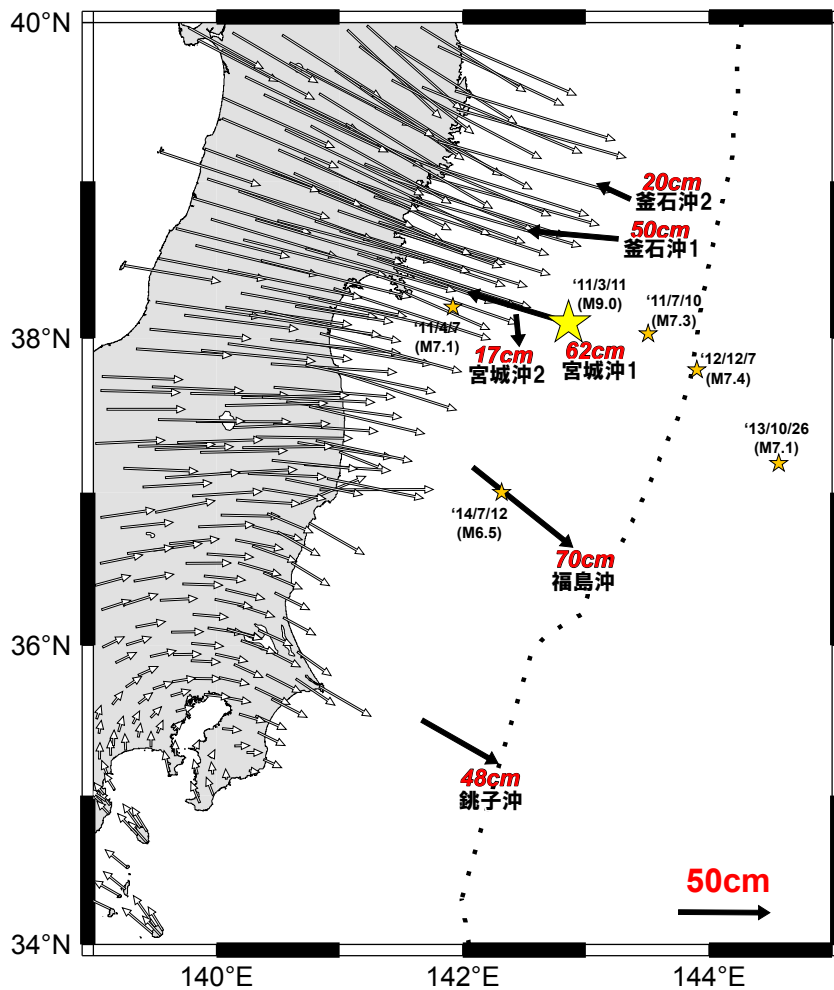


東北地方太平洋沖地震後の海底地殻変動観測結果

海上保安庁では、2011 年 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震後の地殻変動を把握するため、日本海溝沿いに設置されている海底基準点において、順次、海底地殻変動観測を実施している。ここでは、東北地方太平洋沖地震後の累積変位量を、国土地理院の GNSS 観測結果（F3 解）とともに示す。海底基準点において、1cm 以上の変動が推定される余震も示す。

東北地方太平洋沖地震後の水平変位【電子基準点「福江」固定】



観測点	KAMN	KAMS	MYGI	MYGW	FUKU	CHOS	電子基準点
基準エポック	2011/4/3	2011/4/5	2011/3/28	2011/3/27	2011/3/29	2011/4/18	2011/3/29-4/4
比較エポック	2015/8/5	2015/8/4	2015/8/12	2015/8/9	2015/8/3	2015/8/15	2015/8/8 - 8/14
水平変位量	20cm	50cm	62cm	17cm	70cm	48cm	

- 解析には国土地理院提供の電子基準点 1 秒データ及び F3 解を使用している。
- 余震は、気象庁一元化震源を使用している。余震による変動の推定は、Okada[1992]の手法を用いた。